



SECOND  
HARVEST  
セカンドハーベスト ジャパン

# 第6回フードセーフティネットシンポジウム

「食料支援の出口戦略における課題とは？」  
～フードセーフティネットのあるべき姿～

---

2023年10月28日

セカンドハーベスト・ジャパン(認定NPO法人)

政策提言担当マネージャー 芝田雄司



SECOND  
HARVEST

セカンダリーハーベスト・ソサエティ

# フードセーフティネットが構築された社会とは

---

すべての人が経済レベルに関係なく、明日の食事について心配すること無く、いつでも必要なときに栄養のある食べ物を得ることができる社会



SECOND HARVEST  
セカンドハーベスト・プロジェクト

# 生活相談窓口との連携

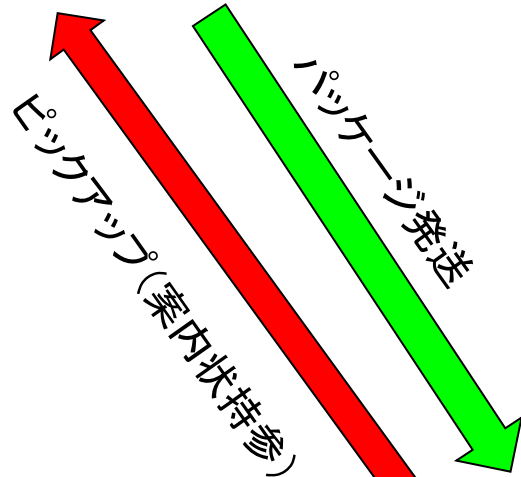
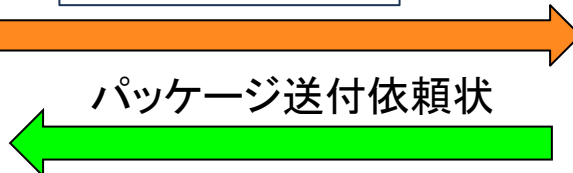
- ・DB登録
- ・登録カード発行  
(バーコード付き)
- ・水曜: パッケージ  
発送
- ・木土: ピックアップ

2HJフード  
パントリー

①確認書の取  
り交わし

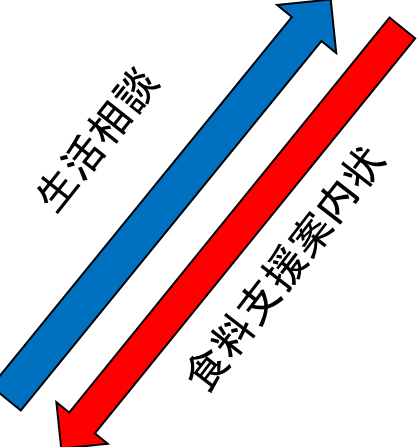
生活相談窓口

- ・行政
- ・社会福祉協議会
- ・民間団体



生活困窮者

- ・相談を必ずする
- ・自助努力をする



- ・包括的支援提供
- ・食料支援回数判  
断
- ・フードバンクにつ  
いての説明
- ・水際作戦に使用  
しない
- ・トレースアビリティ  
ーへの協力

直接問合わせや  
来所された人には  
1回のみ対応し、  
相談窓口につなぐ



SECOND  
HARVEST  
セカンドハーベスト ジャパン

SECOND  
HARVEST  
セカンドハーベスト ジャパン



# Food for 100,000 Tokyo 2020

東京2020:10万人プロジェクト

今すぐ問い合わせる

Goals and Achievements



## プロジェクトの目標と実績



10万人プロジェクトでは、東京で10万人、また同時に実施している埼玉、神奈川を加え、1都2県合計で16万人に生活を支えるのに十分な食べ物を提供するため、2020年末までに合計135カ所のフードパントリーを設置することを目指し活動を推進してきました。

残念ながらコロナ禍により、2020年中に目標達成には至りませんでした。補完の年と位置付けた2021年12月末までに、東京では100カ所、埼玉では78カ所、神奈川では22カ所の合計200カ所のパントリー設置が実現しています。



### Tokyo

東京

100 / 73 目標数

### Kanagawa

神奈川

22 / 44 目標数

### Saitama

埼玉

78 / 18 目標数

※フードパントリーは2hjが直接運営、または2hjの支援を受けて外部団体などが運営しているものが含まれます。

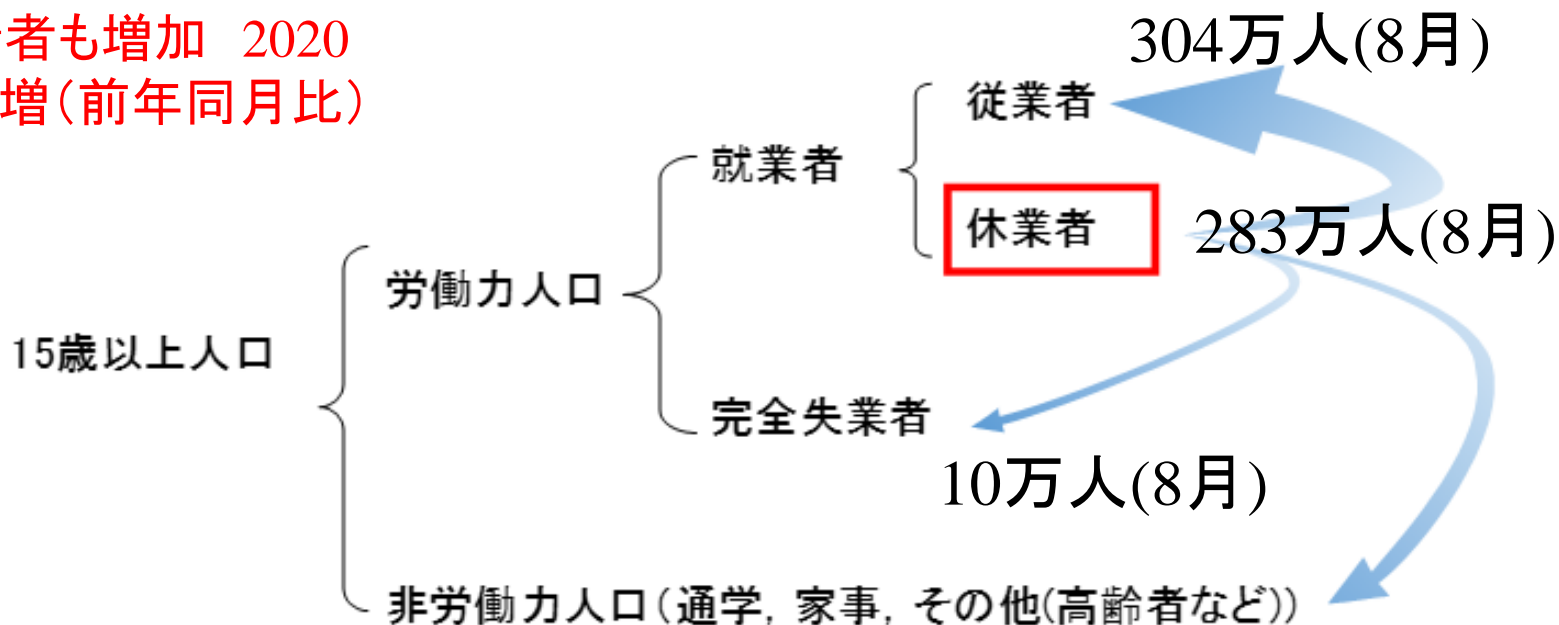
※フードパントリー1カ所につき、週に15世帯程度の新規利用者が食品を受け取れる体制を想定しています。

# 新型コロナウイルスの影響

休業者597万人（1年前に比べて420万人の増加） 4月時点

図 労働力調査における就業状態の分類

生活保護申請者も増加 2020年4月は24.8%増(前年同月比)



完全失業率2020年 1月2.3→8月3.0 0.7ポイント上昇

出典: 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/info/today/158.html>



## 『学生、ひとり親世帯向け支援』



## 『直営フードパントリーにおけるコロナ対策』



SECOND  
HARVEST  
セカンドハーベスト ジャパン



## 屋外でのドライブスルー形式での配布







## 【支援のやり方課題】

- ・そもそもとして必要な方への食糧支援をする期間はどのくらいがいいと考えるか。
- ・どのようなやり方がよいのか。

## 【官民連携のやりかた問題】

- ・行政や社協と連携した食支援ができているか。
- ・必要な方が食支援受けるまでのプロセスが長くないか？ハードルが高くないか？

## 【フードセーフティネットあり方課題】

- ・フードパントリーを実施している団体は増えてきているが、対象とする属性は子育て世帯が多い、偏りがあることで、現在市民活動の中でつくられてきている食のセーフティネットでもそこから漏れ落ちる方がでてきている。

## 【地域フードパントリーの機能課題】

- ・各フードパントリー団体の保管場所に限界。食品の保管場所が確保できない。だから対応キャパが増えない。

## 安心な社会の構築が必要と考えるから



- ・存在することによる安心感
- ・不安があれば相談
- ・地域密着
- ・何かあったら対応してくれる

自分たちの**身近な公共資産**として**当たり前前に**フードセーフティネットワークが**存在することが必要**

ご清聴ありがとうございました。